



大阪早稲田倶楽部 NEWS

2年ぶりの新年会 笑顔はじける



冒頭を飾った白原さんのフラダンス

大阪早稲田倶楽部と校友会大阪府支部共催の恒例の新年会が令和4年1月15日(土)、シェラトン都ホテル大阪(上本町)で開催され、92人が参加した。新型コロナウイルス禍により、2021年は中止となり、2年ぶりの開催。この2年は倶楽部総会や倶楽部祭、新人歓迎会、また校友会支部総会も開催見送りとなっており、久しぶりの顔合わせに会員らの笑顔がはじけた。

感染防止のため、10人掛けの円卓に4人がゆったりと着席。会場が暗転すると正面のスクリーンに中島みゆきの名曲「糸」の歌のせてフラダンスを踊る白原早織さん(平成11年人科)の映像が流れた。そしてスポットライトがステージに当たると白原さん本人が登場し、映像と同じ舞を披露し、喝采を浴びた。続いて2年前にYouTubeで公開された応援歌「そして紺碧の空へ」が放映され、ムードを盛り上げた。

校友会の黒川明支部長の挨拶、倶楽部の熊澤一郎会長の乾杯で幕を開け、飲食の時以外はマスクをと節度を保って粛々とした歓談が続いた。

新年会では恒例となっているワセジヨがステージに勢揃いしての記念撮影や倶楽部員の国会議員の方々の紹介などもあり、華やかで楽しい雰囲気会場内を包み込んでいた。

校友会兵庫支部長の高梨柳太郎さん(昭和54年政経、神戸新聞社社長)も参加され、「大阪と兵庫がこれからも楽しく連携を」と挨拶された。

締めめの定番の校歌は今回は映像で流し、声を出すのを控え、「心の中で歌ってください」。

ステージでは御年91歳の松田三郎さん(昭和28年法)とフラ姫の白原さん、初参加の応援部OB木内大明さん(平成17年社会)の3人がエールをリードした。



パワフル松田さんのエールは健在だった



ワセジヨは今年も元気にステージへ

てくてく ハイキング



奈良

新型コロナウイルスの流行がややおさまっている間にレクリエーションをということで、「てくてくハイキングの会」は奈良に行ってきました。令和3年11月13日、23人の参加で英気を養いました。

爽やかな秋晴れの空が広がり、奈良公園では観光客も多く見られました。続いて春日山原始林へ。滝坂の道を進みましたが、結構ハードです。

暖かいせい、紅葉にはまだ早く、柔らかな緑の葉の間から光が差し込み、穏やかに時間が流れます。

上りが続き、道をそれてやや奥まったところに、「地獄谷石窟仏」がありました。平安時代のもので言われていて、岩盤をくりぬいた洞窟の壁に、岩盤如来像、薬師如来、十一面観音、如意輪観音、阿弥陀如来坐像、千手観音の計6体が彫られています。華やかな宮廷文化の裏でひっそりと彫られた仏像たち。先人に思いをさせます。

さらに春日山原始林を抜ける春日奥山道路へ。春日山原始林は春日大社の神域に広がる原始林で、841年(承和8年)以来、樹木の伐採が禁止されてい

るため、森林がほとんど手付かずの状態のまま残されています。傾斜がきつくないので、森林浴を楽しみながら歩けます。

そして、若草山頂上へ！

やっとたどり着きました。爽やかに！奈良盆地を一望できる絶景が広がります。眼下には大仏殿の大屋根や興福寺の五重塔が見え、平城宮跡が見え、その周辺に街があり、悠久の昔から人々が生活を営んできた歴史を感じます。遠くには生駒山・二上山・葛城山・金剛山が見えます。「こんな風景はどこにもない」とおっしゃっている方も！いつまでものんびりと眺めたい風景でした。

最後は東大寺二月堂附近で月を眺め、解散。合計17km！よく歩きました！幹事の千切智世さま、ご参加の皆さま、お世話になりました。ありがとうございました。

福嶋千恵子(平成6年政経)



てくてくてく ハイキング

神戸



ハイキング部会の「海神社・五色塚古墳・アウトレットパークマリニピア神戸と明石海峡大橋を訪ねるウォーク」に参加しました。令和3年12月4日、参加者は20名です。

JR垂水駅に集合し、すぐそばの海(わたつみ)神社(通称かいじんじゃ)にお詣りした後、北に向かうと閑静な住宅街に入りました。町名が五色山になると、突如、巨大な五色塚古墳が目の前に現れました。神戸市文化スポーツ文化財課の学芸員に説明いただきました。この古墳は4世紀後半に築造された兵庫県下最大の前方後円墳で、当時、明石海峡とその周辺を支配した豪族がこの地に葬られているのではないかとのことでした。

古墳は昭和40年から本格的な発掘調査が始められ、調査結果に基づいてほぼ当時の形に復元されましたが、石室内は未調査のままとか。古墳は三段に築かれており、鱧付円筒埴輪が並べられた三段目頂上まで登りました。円墳部分の頂上では強風にあおられながらも、明石海峡大橋、淡路島、大阪湾を望む壮大な景色を楽しむことができました。

次の目的地はマリニピア神戸。ここにはアウトレットモールやヨットハーバーなどがあります。当初、モール2階にある展望デッキで明石海峡大橋の景色を見る予定でしたが、あいにくの強風のため、デッキはクローズ。今回のハイキングの企画者である田村昌之さん(昭和54年法)からは、強風で波立つ明石海峡を背にして神功皇后と三韓征伐にまつわるこの周辺の神社の由来についての解説をうかがいました。

西から東へ、海神社・長田神社・生田神社・本住吉神社・広田神社・住吉大社があり、それぞれの神社には様々な神様が祀られています。海神社は播磨の国、その余の神社は摂津の国にあり、神社の由緒は海神社とその他の神社では微妙なところで異なっているものの、全てに共通するのは神功皇后(仲哀天皇后)だそうです。

神功皇后は新羅平定の帰途、船上で産気づき、筑紫(福岡県周辺)の地で子(後の応神天皇)を出産しました。その場所には後世、宇美八幡宮が創建されたそうです。神功皇后はその後難波を目指して大阪湾に入ったところ

で船がぐるぐると廻って進まなくなつたことから、武庫の湊に引き返して占いをしました。すると神様からお告げがあり、お告げに示された神様を各地に祀ったところ海が鎮まり、無事、都に帰還できました。これら摂津の国にある神社の由緒は日本書紀に書かれているとのことです。

マリニピア神戸を出て海岸の松林沿いの道を歩いて舞子公園に。本日最後の見どころは、舞子海上プロムナードです。ここは明石海峡大橋内にあり、高さ47m、長さ317mの回遊式遊歩道で、歩道の床の一部はガラス張りになっており、ガラスの下には荒れた波の青い海が見えました。ガラス床の真ん中に渡された丸木橋を通るときには海の上を歩いて渡るようなスリルを体感できました。

舞子公園内にはこの他に旧武藤山治邸や孫文ゆかりの移情閣もあり、見学すると、すっかり夕暮れ時になりました。JR舞子駅で解散となりましたが、その後有志による2次会もあり、参加者は楽しい一日を過ごしました。

大谷祐子(昭和52年文)

早稲女会

早稲女 着物談義

早稲女会は令和4年3月3日、「ZOOM着物お話し会」を開催しました。新年会では早稲女の艶やかな着物姿が見られますが、倶楽部副理事長で着物について詳しい尾田沙智乎先輩に、着物の基本的なことについてうかがおうと企画しました。

着物作家のお話から始まり、着物の種類や季節ごとの装い、紋や格などについて着物の写真を拝見しながらわかりやすく充実した興味深いお話を聞かせていただきました。着物の洒落についてもうかがい、ちらりと見える裾にお洒落の心意気が表れる、そんな日本人の美意識に触れることができました。

講義後の質問では、嫁入り道具が話題に上り、時とともに結婚がどんどん簡素化されていると実感しました。

また、着物小物についても話がおよび、履き物や帯についてはもっと詳しくお聞きしたいとの要望がありました。

そこで、早速ではありませんが、「着物お話し会 第2回」を開くことにしました。4月18日(月)です。帯をテーマに、着物と合わせる際のポイントや

結びのコツなどをうかがう予定です。ZOOM開催としておりますが、落ち着いたころには着物を自分で着る練習会などもできたらと思っております。

そしてお出かけしやすい季節になったら、谷崎潤一郎の小説「細雪」の早稲女版さながら、着物姿でみなさまとお出かけできればと思っております。その時には男性会員様にもご参加いただける企画を、と考えております。お楽しみにお待ちくださいませ。

白原早織(平成11年人科)



忘年ゴルフコンペ

藪田さんが優勝



第166回ゴルフ部会忘年ゴルフコンペが令和3年12月4日、PGM池田カントリークラブ(池田市)で開催されました。

当日は絶好の晴天の中、大阪早稲田倶楽部ゴルフ部会としては久しぶりの開催ということもあり、24名の参加者それぞれが、思い思いのプレースタイルでゴルフを楽しめました。

途中、鹿が現れたり楽しいハプニングもありながら、全員無事にホールアウトした結果、藪田麻夕子さん(平成4年法)が見事優勝されました。プレー終了後は、こちらも久しぶりの成績発表と懇親会を開くことができ、楽しい時間を過ごすことができました。

滋野雅之(昭和63年理工)

大阪早稲田倶楽部



早稲田大学校友会大阪府支部